

氏名	金野 倫子	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	老年精神医学、睡眠医学、精神病理学、女性心身医学				
学位	博士（医学）				
学歴	1990年東北大学医学部医学科卒業、1998年 博士号取得（東北大学・医学）				
経歴	2014年10月～日本大学医学部精神医学系精神医学分野診療准教授、2017年10月～埼玉県立大学保健医療福祉学部教授、日本大学医学部精神医学系精神医学分野臨床教授				
所属学会（役職）	日本老年精神医学会・専門医・指導医・評議員、日本睡眠学会・評議員・委員会委員、日本精神神経学会専門医、日本女性心身医学会・認定医・評議員、日本総合病院精神医学会・専門医、認知症診療医、日本医師会認定産業医 他				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし						
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	科学研究費助成事業（基盤研究C）	更年期女性の不眠の病態生理と身体運動に着目した睡眠改善プロトコルの開発と効果検証			研究分担者	2022.4～	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	心の健康	○	15	人間の精神活動を多角的に捉える視点を提示し、双方向性講義を試みた。			
2	精神医学	○	15	精神医学の知識が系統的に蓄積できるように精神医学診断体系や治療の中心となる考え方を明確に示しながら講義を進めた。また、精神症状や、精神疾患についてより具体的なイメージを持って検討できるようにイラストや動画を活用した。			
3	精神医学概論	○	8	精神医学診断体系や治療の中心となる考え方を明確に示しながら講義を進めた。また、精神症状や、精神疾患についてより具体的なイメージを持って検討できるようにイラストや動画を活用した。			
4	精神医学Ⅱ	○	15	「精神医学」や「精神医学概論」で学んだ知識を整理・深化させ、精神医学的思考を身につけ、各種精神疾患それぞれの性質や本人の主観的体験の変化に立脚した支援を考えるための基礎固めを行うことを目指し、講義＋小演習の形式で実施した。			
5	作業療法総合演習		1	国家試験を踏まえて、これまでの精神医学的知識を整理し、図解を活用し理解を図った。			
6	理学療法特別演習		1	国家試験を踏まえて、これまでの精神医学的知識を整理し、図解を活用し理解を図った。			

7	保健医療福祉と臨床精神医学	○	15	精神医学の知識を受講者の問題意識を踏まえながら整理し、この領域の最近の動向を把握するリカレント学習の機会を提供するとともに、「心」をとりまく学際的なテーマについて、様々な精神疾患の様態や介入に関する知見が示唆する方向性を検討し、受講者が保健医療福祉領域の研究に取り組む際の視野の拡大を目指した。	
8	精神科治療論Ⅰ		4	精神医学における診断分類、症候学、治療学、などについて受講者の臨床経験を踏まえながら解説を行い、実践的な視点からの知識の再構築を促した。	
9	精神保健支援論		4	精神科臨床において、素早く判断し迅速な医学的介入が求められる局面と、状況を把握しつつも積極的な医学的介入は控えて見守ることが求められる事態があることについて、判断の基本と留意点を整理しながら検討を進めた。	
10	高次脳機能と病態制御		6	異常精神現象である幻覚を糸口として高次脳機能の共通構造を取り出しつつ、最近の神経ネットワーク理論を概観し、研究や治療における新たな取り組みを志向する際に役立つ視点を解説した。	
11	IPW論②+IPWシステム開発論②		1	複数の学問領域が連携して保健医療福祉領域の問題を解決する際の知識の共有のあり方、チーム編成における問題点、各メンバーの役割への考察の深化を図るために、事例検討の形式で双方向の講義を行った。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
(4) 論文指導					
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
3	博士論文	2024.5～, 2025.5～	主指導（指導教員）	名	副指導（指導補助教員）5名
(5) その他					
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	埼玉県立大学大学院修士論文審査 審査員	2025.10～2026.3	埼玉県立大学大学院修士論文審査で主査を務めた。		
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月	
1	一般公開講座	埼玉県立大学	精神障害者家族による家族自身のリカバリートーク	2025.10	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期	
1	埼玉県運営適正化委員会苦情解決合議体	委員		2017.11～現在	
2	日本老年精神医学会	評議員		2010.6～現在	
3	日本睡眠学会	評議員・ダイバーシティ委員会委員		2015.8～現在	
4	日本女性心身学会	評議員・幹事		2007.5～現在	
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称	内容			年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	該当なし				

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	校医	2019.4~現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会委員（保健センター員）	2018.4~現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	衛生委員会委員（産業医）	2021.4~現在 （2023、2024除く）
4	全学的委員会及びセンター業務等	障害学生アドバイザー	2018.4~現在
5	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会	2025.4~2026.3
6	全学的委員会及びセンター業務等	専門基盤科目担当者会会長代理	2025.4~現在
7	全学的委員会及びセンター業務等	共通教育科卒業研究係	2023.10~現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		